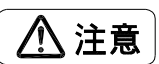



- このマニュアルには、枠を組立てる際に行う枠内配線の通線方法・取付け方法が記載されています。
- 枠の詳しい組立て方については、【MI-1294】を参照してください。

※お使いになる人や他の人の財産への損害を未然に防止するため次のような絵表示をしています。

絵表示	意味
 注意	取り扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
 お願い	「必ず行なっていただく事」を示しています。

注意

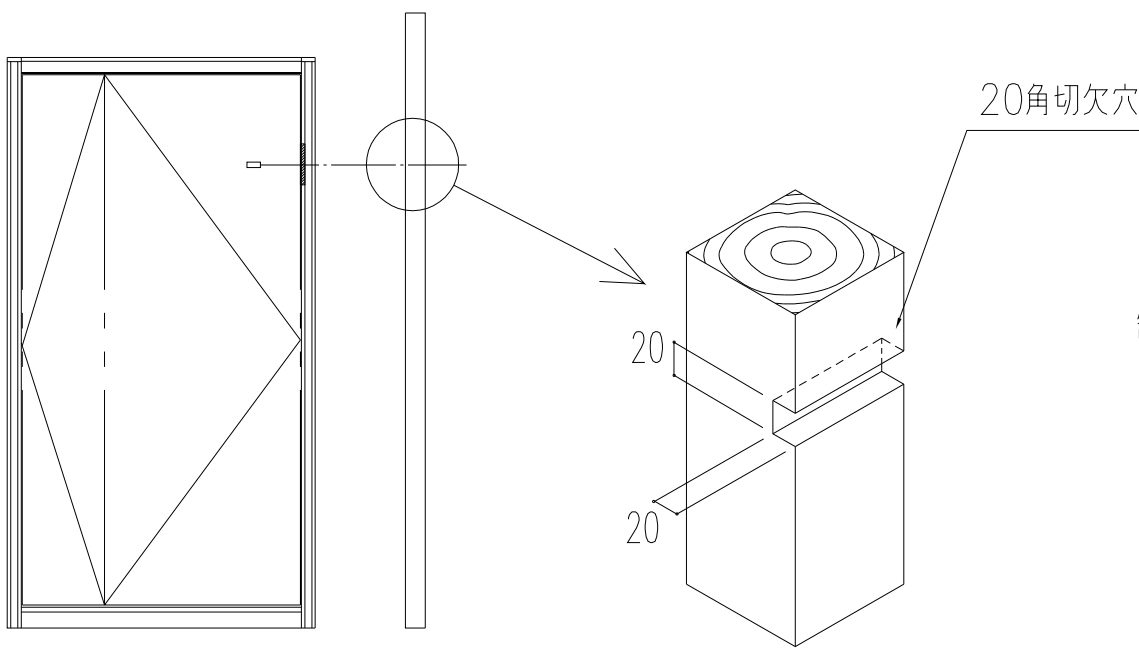
- ・枠内配線は、必ず専用のものを使用してください。漏電や感電、故障の原因となる場合があります。

お願い

- ・枠内配線には方向性がありますので、通線方向を間違わないようにしてください。

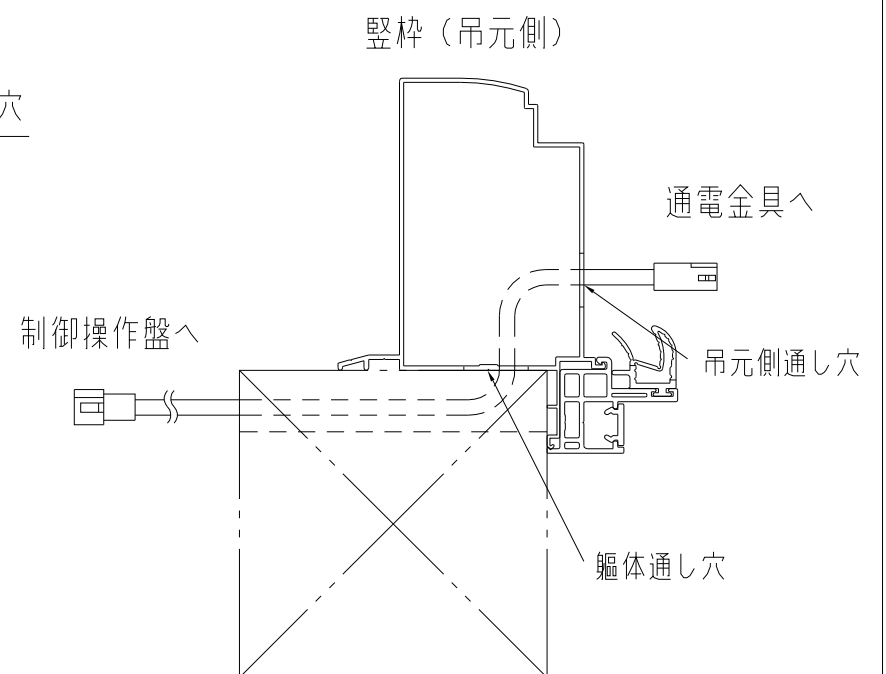
■ 1. 配線ケーブル通線部の施工

- 枠を躯体に取付ける前に、躯体に配線用の加工をしてください。
- 配線ケーブル通線部をドア枠の配線位置に合わせ、現物合わせで加工してください。
- 加工の際は、切欠穴が大きくなりすぎないように注意してください。



■ 2. 配線ケーブル通線部への配線

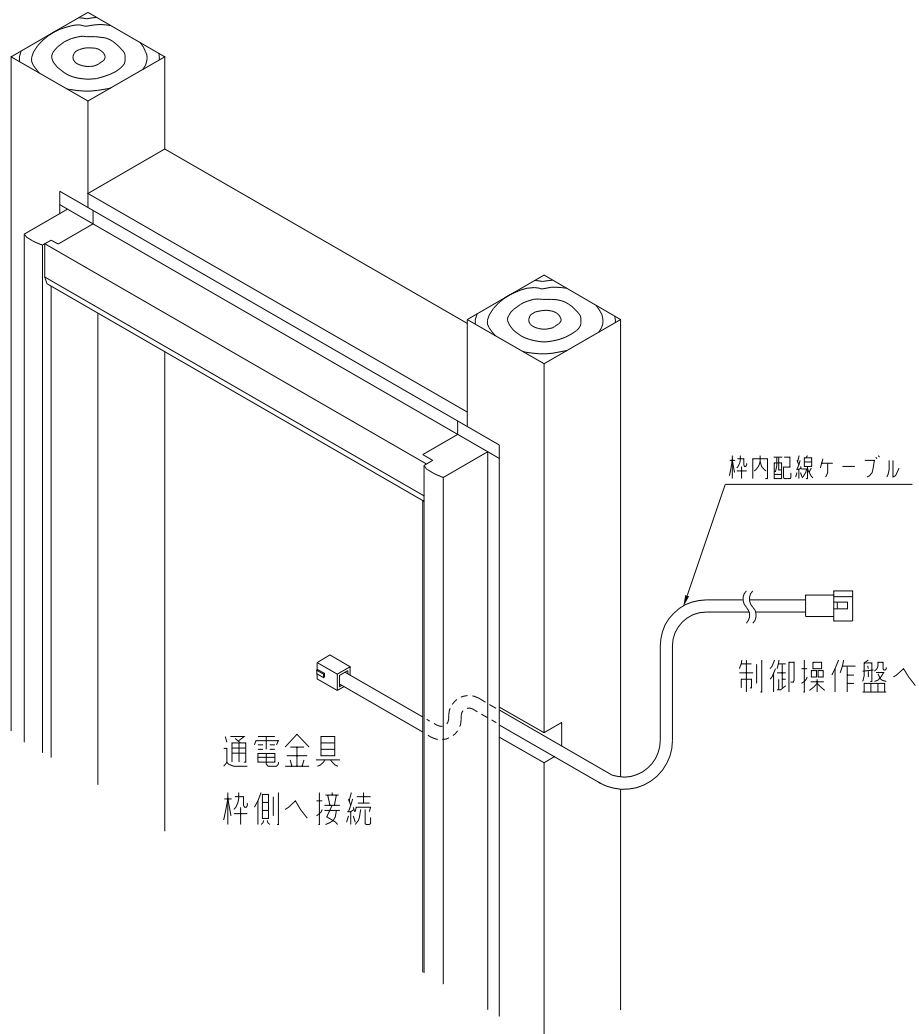
- ドア枠の配線位置と躯体のケーブル通し穴が合っていることを確認してください。
- 配線ケーブルを躯体通し穴から吊元側通し穴に通してください。



配線ケーブルは制御操作盤ユニットに同梱
(枠内配線：EW-1132)

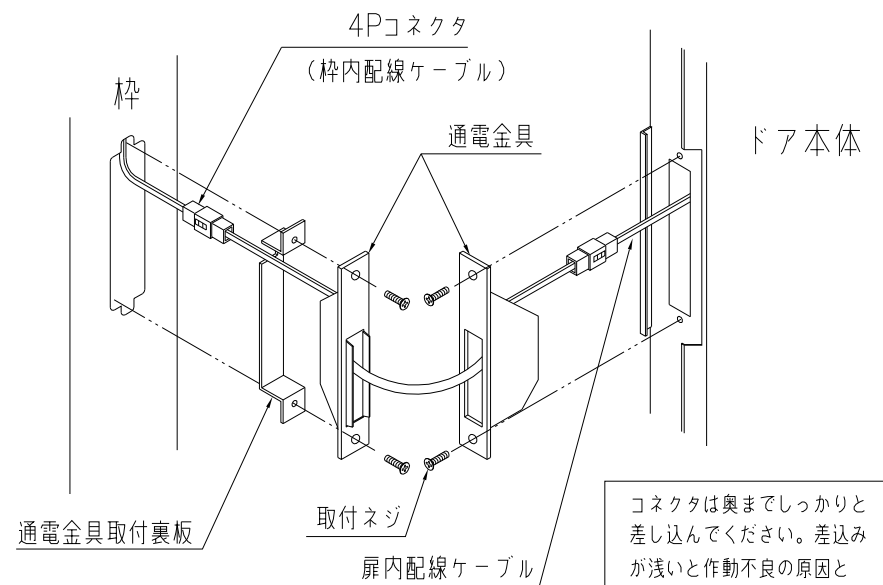
■ 3. 躯体への取付け

- 枠を躯体に固定し、ドア本体を吊り込んでください。



■ 4. 通電金具の取付け

- 縦枠から出ているコネクタ（枠内配線ケーブル）と枠側通電金具のコネクタを接続し、ケーブルを縦枠内に押し込んで取付け、裏板にネジ止めしてください。
- 同様に扉内配線ケーブルと扉側通電金具のコネクタを接続し、ケーブルを扉内に押し込んでネジ止めしてください。



通電金具、通電金具裏板は枠の梱包に同梱

コネクタは奥までしっかりと差し込んでください。差込みが浅いと作動不良の原因となります。

※本図は右勝手を示す